



ともに一通信



各事業所より

行事



お知らせ

編集後記



写真：忘年会の様子

今月号のともに一通信は『一年の振り返り』です。

各事業所の一年のまとめ、所長挨拶を掲載しています。



年間行事予定

4月：お花見 歯科健診
6月：手話講習会
10月：ふれあいスポーツのつどい、BBQ(バーベキュー)大会
12月：忘年会
1月：テーブルマナーセミナー
3月：研修旅行

上記以外に対人マナーセミナーや夏祭り等の行事も予定しています。

※年間行事予定は変更になる場合があります。

特定非営利活動法人
東京自立支援センター
〒186-0012東京都国立市泉1-16-4
TEL 042-576-9088 FAX 042-576-9144
ホームページ <http://www.tokyo-tomony.org/>

Facebookページ



facebook

QRコード





就労移行支援事業所 ポートビズ

今年のポートビズは、矢川事業所から2名、国立事業所から4名の方々が就職をされました(11月末現在)。どの方も訓練プログラムを通して、自分自身の個性や仕事のマッチング度合いについて模索しながら、努力を積み重ねて掴み取った就職先です。長く働き続けるために、職員も会社とご本人の間に立って、サポートをしています。

さて、日々の訓練プログラムでは近隣の約10ヶ所の店舗や会社様からご協力を頂き、請負作業として施設内外での訓練を積極的に行わせていただきました。谷保駅前前の「ごはんや」では毎週火曜日に店舗清掃の場を提供していただき、矢川事業所近くにある「NHK学園高等学校」では丁合、シュレッター等の事務作業を月に数回行いました。これらの訓練を通して、得意な面や改善点の振り返りをしながら、着実に就労に向けた準備性を高めています。このように充実したプログラムを提供しているポートビズをより多くの方々に知っていただけるようホームページを開設しました。ブログは利用者、職員が平日毎日更新しております。ポートビズ (<http://port-biz.org>) で是非検索してみてくださいね！来年もよろしくお願いいたします。



1. バザー会場にて値札書きの訓練。



2. 「ごはんや」での清掃訓練。



就労継続支援B型事業所 ともに一ドリーム

4月から新しい利用者が3名増え、11月からは引越しの為退所された方がともに一ドリームに戻ってこられたので今年度は4名増えました。利用者の皆様が日々頑張ってくれているおかげで今まで行っていた仕事を受ける量も増え、さらに新しくにんにくスプラウトの水耕栽培、クロネコヤマトのメール便配達の仕事を始めA型の仕事を行う機会もありました。

仕事以外ではクッキーやクレープを焼いたり畑でとれたじゃがいもを使ってコロッケをつくって食べました。仕事とはまた違った表情を見ることができました。

利用者が増えたことで12月からはともに一ドリームの3階が作業場として増えました。今後も利用者の皆様がやりがいを持てるような仕事を増やしていき、仕事以外でも皆で楽しむ時間を作っていきたいと考えています。

本年は皆様のご理解、ご協力ありがとうございました。
来年もよろしくお願いいたします。



就労継続支援A型事業所 ステップアップともに一

休止から始まった2019年でしたが、東京都及び地域の要望に応え、10月に事業所を借りられたので再開いたしました。

再開早々、法人の【循環型雇用】の方針に倣い、A型からも一般就労を目指し、就職活動を行った結果、スーパーマーケットに合格しバックヤードにて12月10日から勤務し始めています。(ともに一からも特例子会社にトライアル実施中です) また、特別支援学校からの実習生も受け入れ、来年度も新規利用者が利用開始予定です。

引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。
良いお年をお迎え下さい。





就労継続支援A型事業所 ともに一



10月のステップアップとともに一再開に伴い、12月現在の利用者数は29名に変更となりました。そして、新たに職員の織田仁(オダヒトシ)が入職し、サービス管理責任者に前田摩耶(マエダマヤ)が就任しましたので、書面にてご報告させていただきます。

昨年4月から始まった多摩工場でのテーブルナプキン生産作業も定着し、新しく作業体験や訓練に取り組む機会が増え、作業能力の向上やスキルアップのために日々努力しています。

さらに、今年度は当法人内の「就労移行支援事業所ポートビズ」の見学会を行っています。一般就労を目指す中で、ビジネスマナーや面接練習など、就職訓練の場を実際に見学や体験することで、自分自身で将来や今後の進路について肌で感じる機会にしていきたいと考え取り組んでいます。

利用者皆さんの、「やってみたい」「知りたい」「働きたい」という希望を実現していけるよう、これからも職員一同尽力に努めてまいりますので、来年もまたどうぞよろしくお願いいたします。



ポートビズへ見学に行きました！！

共同生活援助事業所 ともに一ホーム

ともに一ホームは5年目を迎えました。グループホームでの暮らしを支えていく上で、何を大切にしなければいけないのかを繰り返し考えます。支援の方針や方向性、支援の内容などは職員の間で話し合われます。でも、ともに一ホームで暮らすのは職員ではなく利用者です。だから、暮らしの支援を支援する側の視点でとらえるのではなく、利用者の視点でとらえることによって大切にしなければならない考え方を見つめ直しながら、より鮮明に分かりやすく整理していく必要性を感じています。利用者主体ということは頭で分かっている、ついつい支援者の思いだけで動いてしまいがちです。利用者一人ひとりの本人支援を常に確認し、利用者にとってのともに一ホームを目指していきたいと思います。



ともに一サポート

指定特定相談支援事業ともに一サポートが始まってから2年が過ぎました。今年は少しずつ契約者数も増やすことの出来る環境になり始めた年でした。相談支援専門員には、サービス等利用計画作成に必要なスキル・知識を高めることが求められます。そこには、インフォーマルサービスを含めた社会資源の活用、地域のつながりや支援者等との関係構築、利用者の生きがいや希望を見出す等の支援といった役割が求められています。相談支援専門員が持つべき視点に努力しつつ、利用者が希望する生活の実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。





放課後等デイサービス スマイルともに一

現在、「遊びも学びも楽しく」をモットーに活動中です。子どもたちに自主性や自尊心を育んでもらえるよう心掛けて支援しています。元気いっぱい通ってくれる子どもたち、日ごろからご理解ご協力いただいている保護者の皆様、関係機関の皆様ののおかげで実りある素晴らしい一年となりました。

今年も自然豊かな環境でみんなが輝く笑顔で過ごしてくれたので大変うれしく思っています。また、子ども同士で協力し合ったり声を掛け合ったりする姿などの、一人ひとりの心の成長が伺える場面もとても多く、職員一同感激する日々を送った一年となりました。子どもたちに「スマイルともに一に行きたい！」「スマイルともに一が好き！」と言っていただけよう、職員一同精進してまいります。書面で恐縮ではございますが、年末の挨拶とさせていただきます。ご家族そろって輝かしい新年をお迎えください。



11月マナーセミナー



11月27日（水）
マナーに関する講習を行いました。A型事業所の利用者を対象とし、本年最後の開催となりました。

来年もマナーを守り、相手の気持ちを考え、
みんなで気持ちよく働ける職場にしていきたいと思います！

編集後記

本年も東京自立支援センターをご利用いただきありがとうございました。各事業所の取り組みはもちろんの事、事業所の枠を超えての関わりが多い年だったのではないかと感じます。

早いもので、今年最後の発行となりました。こうして無事に発行できたのは、ご利用者様、保護者の皆様、関係機関の皆様のおかげです。ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。